

令和 2 年度公営企業会計決算における 決 算 審 査 意 見 書

- ・西和賀町水道事業会計
- ・西和賀さわうち病院事業会計

西和賀町監査委員

令和 3 年 8 月

目 次

I 令和2年度決算における決算審査結果

1. 審査の対象	1
2. 審査の方法	1
3. 審査の日時と場所及び審査に立ち会った職員	1
4. 審査した監査委員	1
5. 審査の結果	1
6. 水道事業会計決算	2
7. 西和賀さわうち病院事業会計決算	5

II 審査意見 7

- ① 表中の数値には、それぞれ単位を記入しています。
- ② 文中や表の数値で千円、万円と表示してある場合は、原則としてそれぞれの表示未満の数値を切り捨てています。
- ③ 率と率の比較は、ポイントで表示しました。
- ④ 表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「0.0または0」・・・該当数値はあるが表示単位未満のものです
 - 「－」・・・数値のないものです
 - 「△」・・・マイナスの数値です
- ⑤ 構成比などは、合計が100%になるように一部で調整しています。
- ⑥ 掲載してある表などは、出所を明記しているもの以外は、各課からの資料に基づくものです。

I 令和2年度公営企業会計決算における決算審査概要

1. 審査対象

- 各公営企業会計歳入歳出決算
西和賀町水道事業会計決算
西和賀さわうち病院事業会計決算
- 附属書類
各公営企業会計の決算附属資料

2. 審査の方法

審査に付された決算報告書、財務諸表及び決算附属書類の記載事項が法令に準拠して作成されているか、その計数の正確性、経営内容の妥当を審査するとともに、予算執行の適否及び決算経理について関係職員から事情を聴取したほか、例月の現金出納検査と定期監査なども参考にしながら審査を実施した。

3. 審査の日時と場所及び審査に立ち会った職員

令和3年度決算審査(令和2年度決算対象)

月日	時間	対象課等	立ち会った職員、備考	場所
7月	21日 (水)	13:00 ~ 15:00	上下水道課 課長 小林英介、課長代理 高橋茂和、主任技師 藤原 啓、 主任 高橋雅仁	川尻保健センター 2階集会室
		監査委員事務局立会者	事務局長 加藤真喜子、書記 内記孝洋	
	26日 (月)	13:30 ~ 15:00	西和賀 さわうち病院 事務長 東 清彦、主任 赤石広光	西和賀 さわうち病院 大会議室
		監査委員事務局立会者	事務局長 加藤真喜子、書記 内記孝洋	
8月	23日 (月)	9:30 ~ 9:50	講 評	湯田庁舎 3階旧議場

4. 審査した監査委員

高橋政芳代表監査委員、児玉正彦監査委員

5. 審査の結果

審査に付された各事業の決算書類及び決算附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、財政状況並びに当年度の経営成績を表示しており、予算執行は所期の目的に従い適正に執行されたものと認めた。

6. 水道事業会計

1 事業の概要

業務量は、年間総配水量 890,150 m³、一日平均配水量 2,439 m³、年間総有収水量 597,360 m³となった。また、給水人口は 5,254 人、給水戸数は 2,232 戸となった。

○ 業務量

項 目	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比較(A)-(B)
給 水 人 口	5,254人	5,388人	△ 134人
上記のうち沢内地区	2,697人	2,775人	△ 78人
上記のうち湯田地区	2,557人	2,613人	△ 56人
給 水 戸 数	2,232戸	2,242戸	△ 10戸
導 水 管 延 長	12,490m	12,490m	0m
送 水 管 延 長	18,280m	18,280m	0m
配 水 管 延 長	147,090m	147,090m	0m
配水能力 (m ³ /日)	3,652m ³ /日	3,902m ³ /日	△250m ³ /日
年 間 総 配 水 量	890,150m ³	652,230m ³	237,920m ³
年 間 総 有 収 量	597,360m ³	612,420m ³	△ 15,060m ³
一 日 平 均 配 水 量	2,439m ³	1,787m ³	652m ³

2 予算の執行状況

収益収支では、収入総額 1 億 8,556 万円に対し、支出総額 4 億 613 万円で、収入総額から支出総額を差し引いた 2 億 2,056 万円の当年度の純損失となっている。

令和2年度の累積欠損は 6 億 1,530 万円となっている。

(税抜き)

収益収支			資本収支		
収入総額 (A)	支出総額 (B)	収入支出差引額 (A)-(B)	収入総額 (C)	支出総額 (D)	収入支出差引額 (C)-(D)
185,567,592円	406,132,411円	△220,564,819円	314,037,352円	314,871,133円	△833,781円

(1)収益的收入及び支出

収益的收入は、予算額 1 億 9,693 万円に対し、決算額は 1 億 8,556 万円となっている。
内訳は、営業収益 1 億 1,258 万円、営業外収益 7,298 万円となっている。

収益的支出は、予算額 4 億 1,760 万円に対し、決算額は 4 億 613 万円となっている。内
訳は、営業費用 3 億 7,644 万円、営業外費用 2,730 万円、特別損失 237 万円となっている。

○ 収 入

(税抜き)

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
営業収益	122,230,000円	112,581,850円	125,183,000円	114,555,009円	△1,973,159円
営業外収益	74,703,000円	72,985,742円	86,988,000円	83,753,163円	△10,767,421円
水道事業収益	196,933,000円	185,567,592円	212,171,000円	198,308,172円	△12,740,580円

○ 支 出

(税抜き)

区 分	令和2年度				令和元年度		増 減 (B)-(F)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (D)	予算額 (E)	決算額 (F)	
営業費用	389,488,000円	376,449,029円	-	13,038,971円	402,320,000円	403,549,170円	△27,100,141円
営業外費用	27,613,000円	27,309,137円	-	303,863円	29,449,000円	29,398,159円	△2,089,022円
特別損失	0円	2,374,245円	-	△2,374,245円	0円	2,540,513円	△166,268円
予備費	500,000円	0円	-	500,000円	500,000円	0円	0円
水道事業費用	417,601,000円	406,132,411円	-	11,468,589円	432,269,000円	435,487,842円	△29,355,431円

(2)資本的收入及び支出の状況

資本的收入は、予算額 3 億 1,467 万円に対し、決算額は 3 億 1,403 万円となっている。
内訳は、企業債 5, 010 万円、出資金 2 億 3,321 万円となっている。

資本的支出は、予算額 3 億 4,233 万円に対し、決算額は 3 億 2,342 万円となっている。
内訳は、建設改良費 9,404 万円、企業債償還金 2 億 2,937 万円となっている。

○ 収 入

(税抜き)

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
企業債	50,100,000円	50,100,000円	53,000,000円	53,000,000円	△2,900,000円
出資金	233,213,000円	233,212,860円	283,733,000円	283,500,680円	△50,287,820円
負担金	31,358,000円	30,724,492円	0円	0円	30,724,492円
補助金	0円	0円	0円	0円	0円
資本的收入	314,671,000円	314,037,352円	336,733,000円	336,500,680円	△22,463,328円

○ 支 出

(税抜き)

区 分	令和2年度				令和元年度		増 減 (B)-(E)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (D)	不用額 (C)	予算額 (D)	決算額 (E)	
建設改良費	112,959,000円	94,047,000円	18,868,000円	44,000円	102,364,000円	74,469,960円	19,577,040円
企業債償還金	229,374,000円	229,373,860円	0円	140円	234,369,000円	234,368,720円	△4,994,860円
資本的支出	342,333,000円	323,420,860円	18,868,000円	44,140円	336,733,000円	308,838,680円	14,582,180円

3 経理の状況

① 事業収入

(単位:円、税抜き)

区 分	令和2年度(A)		令和元年度(B)		比 較	
	決 算 額	構成比 %	決 算 額	構成比 %	増 減 (A-B)	比 率 (A/B×100) %
1 営 業 収 益	112,581,850	60.7	114,555,009	57.8	△ 1,973,159	98.3
(1) 給 水 収 益	112,468,650	60.6	114,425,109	57.7	△ 1,956,459	98.3
(2) その他の営業収益	113,200	0.1	129,900	0.1	△ 16,700	87.1
2 営 業 外 収 益	72,985,742	39.3	83,753,163	42.2	△ 10,767,421	87.1
(1) 受取利息及び配 当 金	1,539	0.0	1,202	0.0	337	128.0
(2) 他 会 計 補 助 金	14,853,000	8.0	14,699,000	7.4	154,000	101.0
(3) 長期前受金戻入	56,723,255	30.6	57,876,065	29.2	△ 1,152,810	98.0
(4) 雑 収 益	1,407,948	0.7	11,176,896	5.6	△ 9,768,948	12.6
計	185,567,592	100.0	198,308,172	100.0	△ 12,740,580	185.4

② 事業費

(単位:円、税抜き)

区 分	令和2年度(A)		令和元年度(B)		比 較	
	決 算 額	構成比 %	決 算 額	構成比 %	増 減 (A-B)	比 率 (A/B×100) %
1 営 業 費 用	376,449,029	92.7	403,549,170	92.7	△ 27,100,141	93.3
(1) 原水及び浄水費	57,028,463	14.0	57,920,128	13.3	△ 891,665	98.5
(2) 配水及び給水費	10,951,403	2.7	11,193,347	2.6	△ 241,944	97.8
(3) 総 係 費	37,298,288	9.2	38,253,044	8.8	△ 954,756	97.5
(4) 減 価 償 却 費	271,170,875	66.8	281,723,615	64.7	△ 10,552,740	96.3
(5) 資 産 減 耗 費	0	0.0	14,459,036	3.3	△ 14,459,036	0.0
2 営 業 外 費 用	27,309,137	6.7	29,398,159	6.7	△ 2,089,022	92.9
(1) 支払利息及び企 業債取扱諸費	27,194,855	6.7	29,398,159	6.7	△ 2,203,304	92.5
(2) 雑 支 出	114,282	0.0	0	0.0	114,282	0.0
3 特 別 損 失	2,374,245	0.6	2,540,513	0.6	△ 166,268	93.5
(1) 過 年 度 損 益 修 正 損 損	2,374,245	0.6	2,540,513	0.6	△ 166,268	93.5
計	406,132,411	100.0	435,487,842	100.0	△ 29,355,431	279.7

7. 西和賀さわうち病院事業会計

1 事業の概要

当年度の入院患者数は9,386人で、前年度に比べ123人減少となった。医科外来は21,345人で、前年度に比べ1,255人減少、歯科外来は6,351人で、前年度に比べ1,270人減少となり、医科と歯科を含めた外来患者数全体でも前年度を下回っている。

○業務量

①施設利用者数

区 分	入 院	医科外来	歯科外来
令和2年度	9,386人	21,345人	6,351人
令和元年度	9,509人	22,600人	7,621人
対前年比	△ 123人	△ 1,255人	△ 1,270人
	△ 1.3%	△ 5.6%	△ 16.7%

②病床利用状況

区 分	年延病床数	年延入院患者数	利用率
令和2年度	14,600床	9,386人	64.3%
令和元年度	11,560床	9,509人	82.3%

③一日平均取扱患者数

区 分	年延診療日数	年延患者数	一日平均患者数
入 院	365日	9,386人	25.7人
医科外来	289日	21,345人	73.9人
歯科外来	233日	6,351人	27.3人

2 予算の執行状況

収益収支では、収入総額9億2,851万円に対し、支出総額9億8,888万円で、収入支出差引額6,037万円は当年度の純損失となっている。

令和2年度末の累積欠損は7億6,367万円となっている。

①収益収支

(税抜き)

年度	収入			支出			収入支出
	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	予算額 (C)	決算額 (D)	執行率 (D)/(C)	差引額 (B)-(D)
令和2	940,030,000円	928,515,767円	98.8%	1,023,553,000円	988,889,965円	96.6%	△60,374,198円
令和元	907,495,000円	908,258,833円	100.1%	983,459,000円	959,598,290円	97.6%	△51,339,457円
平成30	883,349,000円	895,840,202円	101.4%	990,639,000円	964,159,562円	97.3%	△68,319,360円

②資本収支

(税抜き)

年度	収入			支出			収入支出
	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	予算額 (C)	決算額 (D)	執行率 (D)/(C)	差引額 (B)-(D)
令和2	94,090,000円	76,296,375円	81.1%	94,090,000円	76,296,375円	81.1%	0円
令和元	88,148,000円	88,146,623円	100.0%	88,148,000円	88,146,623円	100.0%	0円
平成30	59,778,000円	59,776,121円	100.0%	59,778,000円	59,776,121円	100.0%	0円

(1)収益的収入及び支出

収益的収入の決算額は9億2,851万円で、前年度と比べて2,025万円の増加となる。内訳は、医業収益は6億352万円で、前年度と比べて5,012万円増加している。医業外収益は3億2,034万円で、前年度と比べて3,451万円減少している。

収益的支出の決算額は9億8,888万円で、前年度と比べて2,929万円の増加となる。内訳は、医業費用9億6,274万円で、前年度と比べて2,318万円増加している。医業外費用は2,149万円で、前年度に比べて145万円増加している。

○収 入 (税抜き)

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
医業収益	605,741,000円	603,522,815円	552,676,000円	553,399,360円	50,123,455円
医業外収益	329,638,000円	320,342,952円	354,818,000円	354,859,473円	△34,516,521円
特別収益	4,651,000円	4,650,000円	1,000円	-	-
病院事業収益	940,030,000円	928,515,767円	907,495,000円	908,258,833円	20,256,934円

○支 出 (税抜き)

区 分	令和2年度				令和元年度		増 減 (B)-(F)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (D)	予算額 (E)	決算額 (F)	
医業費用	1,016,387,000円	962,749,321円	-	53,637,679円	981,163,000円	939,565,783円	23,183,538円
医業外費用	2,514,000円	21,490,644円	-	△18,976,644円	2,294,000円	20,032,507円	1,458,137円
特別損失	4,651,000円	4,650,000円	-	1,000円	1,000円	-	-
予備費	1,000円	-	-	1,000円	1,000円	-	-
病院事業費用	1,023,553,000円	988,889,965円	-	34,663,035円	983,459,000円	959,598,290円	29,291,675円

(2)資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算額は7,629万円で、前年度と比べて1,185万円減少している。

○収 入 (税抜き)

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
企業債	12,500,000円	12,500,000円	19,600,000円	19,600,000円	△7,100,000円
出資金	2,377,000円	2,376,954円	4,206,000円	4,205,093円	△1,828,139円
負担金	42,145,000円	42,144,121円	61,592,000円	61,591,530円	△19,447,409円
補助金	37,068,000円	19,275,300円	2,750,000円	2,750,000円	16,525,300円
資本的収入	94,090,000円	76,296,375円	88,148,000円	88,146,623円	△11,850,248円

○支 出 (税抜き)

区 分	令和2年度				令和元年度		増 減 (B)-(E)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (D)	不用額 (C)	予算額 (D)	決算額 (E)	
建設改良費	51,945,000円	34,152,254円	-	17,792,746円	26,556,000円	26,555,093円	7,597,161円
企業債償還金	42,145,000円	42,144,121円	-	879円	61,592,000円	61,591,530円	△19,447,409円
資本的支出	94,090,000円	76,296,375円	-	17,793,625円	88,148,000円	88,146,623円	△11,850,248円

水道事業会計

水道事業会計については、地方公営企業法が適用される会計に移行して3回目の決算となる。

令和2年度の業務実績は、給水人口 5,254 人、給水戸数 2,232 戸で、前年度と比較すると給水人口は 134 人、給水戸数は 10 戸の減少となった。また、年間総配水量は 890,150 m³、年間総有収水量は 597,360 m³で、前年度と比較すると、年間総配水量は 237,920 m³の増加、年間総有収水量は 15,060 m³の減少となった。

経営成績は、総収益が 185,567,592 円で、前年度と比較して 12,740,580 円の減少、総費用が 406,132,411 円で、前年度と比較して 29,355,431 円の減少となり、総収益から総費用を差し引いた当期純損失は 220,564,819 円となった。未収金は 6,310,597 円で、前年度に比べ 1,540,533 円減少している。

債権管理については、これまでの決算審査などで、使用者の死亡、所在不明、破産などの理由により、今後も回収を見込めない債権の対応方法について検討を求めているものである。その結果、令和2年度は議会の議決を経て 2,498,571 円の債権放棄を行った決算であり、公営企業会計の資産の健全性の意味合いからも高く評価したい。

未収金の回収には常日頃から鋭意尽力されているが、受益者の公正負担の原則や経営の健全性のためにも、引き続き一層の管理、回収に万全を期していただきたい。

給水収益は営業収益の根幹であるが、給水人口は人口減少に伴い年々減少してきており、給水収益は減少傾向にある。一方で、経年劣化に伴う管路の更新や高度化する水質管理の対応、災害対策費用も増加している。水道事業を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、水道水は日常生活の重要なライフラインであり、安全で安定的に供給するためには水道施設の耐震化や老朽化対策の強化が求められている。

今後も事業執行にあたっては、将来の財政負担の軽減と平準化を図りつつ、「安全」・「強靱」・「持続」を三本柱とした「水道事業経営戦略」に基づき、持続可能な経営基盤の確立と効率化に向けた施策が着実に推進されることを期待したい。

西和賀さわうち病院事業会計

令和２年度の西和賀さわうち病院事業会計の業務実績について、入院患者数は延べ 9,386 人、医科外来延べ患者数は 21,345 人、歯科外来延べ患者数は 6,351 人となった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度と比較すると、入院患者数 123 人、医科外来患者数 1,255 人、歯科外来患者数 1,270 人とそれぞれ減少した。

経営成績は、総収益が 928,515,767 円、総費用が 988,889,965 円で、総収益から総費用を差し引いた当期純損失は 60,374,198 円となった。前年度と比較して、総収益で 20,256,934 円、総費用で 29,291,675 円といずれも増加した。

令和２年度も黒字にはならなかったものの、平成 29 年 3 月に策定した「町立西和賀さわうち病院改革プラン」の最重要課題としていた「地域包括ケア病床」を積極的に導入した結果、医業収益が増加し、財務面の改善も図られており、一定の評価をしたい。

今後の事業運営にあたっては、人口減少が進む中でも一定の地域医療の機能を維持するため、安定した経営基盤の確立に向けて医業収益などの確保に努力するとしている。

総務省から示された「新公立病院改革ガイドライン」(平成 27 年 3 月)の中では、前ガイドラインの柱とされた①経営の効率化、②再編・ネットワーク化、③経営形態の見直し、④地域医療構想を踏まえた役割の明確化とする 4 つの視点で公立病院改革を推進する計画を策定することが示された。特に、4 項目の西和賀さわうち病院として果たすべき責務、地域医療構想や地域包括医療ケアシステムでの役割を明確にすることが求められている。

本改革プランの計画期間は、平成 29 年度から令和 2 年度までの 4 年間で、令和 2 年度はその最終年度となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により計画期間が延期となっている。令和 3 年度については、現計画の評価を行うと共に現計画を延長して対応するとしており、その取り組みの成果に期待したい。

西和賀さわうち病院の「地域唯一の病院として、生命の尊重と人間愛の精神に則って、地域の人々の生命を守り、地域医療の充実、発展に貢献する」という経営理念と経営方針を念頭に、地域医療の充実と高度で良質な医療サービスの提供に努められ、地域住民から信頼される医療拠点として責務を果たされるよう望むものである。

